

ABBYY® Vantage®

コグニティブサービスを用いた
AI OCRプラットフォーム

インテリジェントなドキュメント処理を行う 次世代AI OCRでDXをレベルアップ

ABBYY Vantageは、コグニティブサービスや人工知能（AI）を用いたスキルを提供する包括的なコンテンツインテリジェント（次世代AI OCR）プラットフォームです。ABBYY Vantageがあれば、人が理解すると同じようにビジネス文書を機械で解析、意味やインサイトを抽出することができます。

ABBYY Vantage プラットフォームは、ノーコード・ローコードの側面もあり、ベテラン開発者でなくても、DX（デジタルトランスフォーメーション）におけるイニシアチブを加速させることができます。そして、迅速かつシンプルな方法でプロセスに自動化を適用する事で、ビジネス成果、顧客体験、さらには競争力にたちまち影響を与えることができるようになります。

コグニティブスキルが「非構造化」データを「構造化」する

企業データの最大80%は、アクセスや処理が困難だと言われています。そのため、自動化においても大きな課題が課せられます。情報源が多様化し（電子メール、郵便、チャットボットのような最新のシステム・オブ・エンゲージメントなど）、無数のドキュメントタイプ（インボイス、発注書、請求書、ID、運送状、納品書など）やファイルフォーマットが存在するという事は、データを抽出し、ビジネスプロセスを自動化するうえで困難を招く原因になっています。その結果、未だに多くの主要なビジネスプロセスにおいて、手作業が大部分を占めています。すなわち、エラーが発生しやすく、非効率的で、コストも高くなっているということです。

ABBYY Vantageは、複雑な業務コンテンツを処理するソリューションを迅速に構築、学習、展開しやすくしたことで、インテリジェントなドキュメント処理に革命をもたらしました。ABBYY Vantageがあれば、実装フェーズに時間がかかったり、ユーザーに膨大な技術的知識や機械学習の経験を要求したりすることはありません。

ABBYY Vantageが 選ばれる理由

インテリジェント

- あらゆる文書を認識・理解

ビジネスユーザー向けのデザイン

- コーディング不要。わずか数時間でスキルの設計・学習が可能

連携プラットフォームに依存しない

- RPAなどの自動化プラットフォームやSoE（システム・オブ・エンゲージメント）などと統合可能

クラウドファースト

- ウェブベースのプラットフォームで、コンテナ化されたインフラストラクチャを使用して容易なデプロイメントとスケラビリティを実現

AI搭載

- テンプレートやルールの設定は不要。常に学習を継続

高度な拡張性

- ABBYYおよびパートナーが提供するさまざまな事前学習済みのスキルをABBYYマーケットプレイスにて入手可能

インサイト

- ドキュメントベースの直感的かつ気づきを与える検証画面を提供

スキル

- 人のようにインテリジェントな意思決定を実施、人的な労働力を増強

ビジネスバリューをもたらすコグニティブスキル

学習済みコグニティブスキル

ドキュメント主導のビジネスプロセスのための学習済みスキル

ABBYY、パートナー、および顧客は、コアスキルを使用して、請求書、発注書、船荷証券、保険請求書、源泉徴収票、リース契約書といった、あらゆるタイプの文書を解析、処理するための学習をVantageで行うことができます。学習された仕分スキルやドキュメントスキルは、プロセススキルで利用できます。その結果、業務トランザクションの一部として一連のドキュメント処理タスクを実行することが可能になります。

さまざまなドキュメントプロセスの自動化

P2P (Procure to Pay) | OTC (Order to Cash) | カスタマーオンボーディング
KYC (Know Your Customer) | 住宅ローン貸付 | 保険金請求 運輸&物流

コアプロセススキル

コンテンツプロセスを自動化するための基盤

Vantageプラットフォームには、構造化、半構造化、非構造化を問わず、あらゆる種類の文書からデータを解析・抽出するための基盤となる一連のコアスキルが含まれています。

ビジョン

OCR Skill

市場をリードするABBYYのAI OCRがあれば、レイアウト、言語、フォーマットを問わず、あらゆる文書やコンテンツを、全文テキスト化（オフィス文書化）状態にすることができます。簡単にセットアップできるOCRスキルは、抜群の読み取り精度を提供します。すなわち、全文OCRのスキルです。

理解

Classification Skill

ドキュメントの構造的なレイアウトとテキストを分析し、そのタイプを理解し、クラスを割り当て、それを処理するのに相応しいドキュメントスキルを提案します。すなわち、仕分けのスキルです。

インサイト

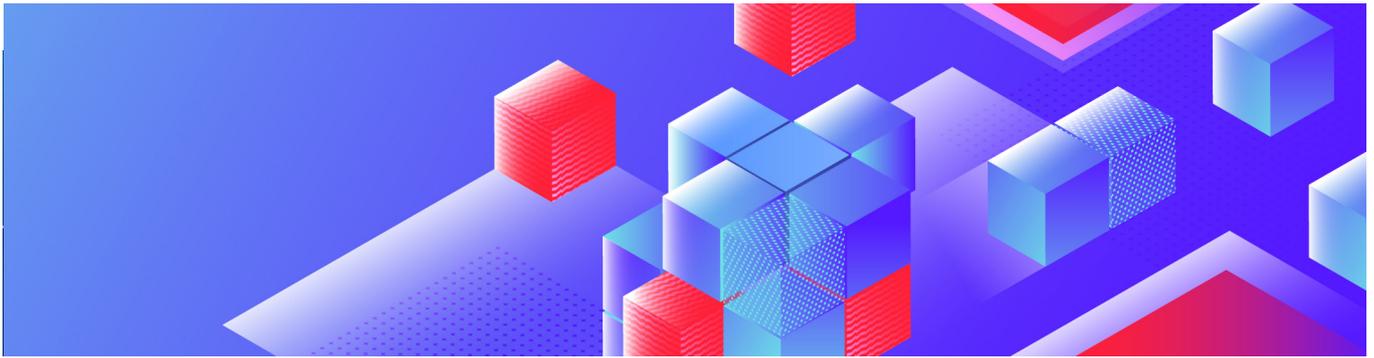
Document Skill

特定のドキュメントタイプからデータやインサイトを抽出し、それを自動化プロセスに送り込み、ビジネスシステムに反映させ、人とのインタラクションを最小限に抑えながら、ビジネス上の意思決定を行うために使用します。すなわち、データ抽出OCRのスキルです。

学習

学習済みVantageのスキルは、ドキュメントセットを拡張したり、ユーザによるインプットや操作に基づいて新しいモデルを作成しながら、運用時に学習を継続します。

すぐに使えるスキルをABBYYマーケットプレイスで



ABBYYのデジタルマーケットプレイスでは、ABBYYやABBYYのパートナーが開発した学習済みのコグニティブスキルやフレームワークを入手することができます。順次追加されるスキルは、さまざまなドキュメントタイプやビジネスプロセスをカバーします。シチズンデベロッパーはそれを利用して、自動化プロジェクトを即時にスタートさせ、新しいビジネス領域を拡大し、より素早く結果を出すことができますようになります。

↳ abbyy.comのマーケットプレイスは[こちら](#)

シンプルで簡単なインテグレーション 自動化エコシステムと連携できるコグニティブスキル

Vantageのコグニティブスキルは、Marketplaceで入手できる各種コネクタやVantage REST APIを介して、あらゆるビジネスアプリケーションやワークフローと簡単に統合することができます。Vantageがあれば、Blue Prism®、UiPath®、SAP® Intelligent RPAなどのRPAプラットフォームをはじめ、Appian®やPegasystems®などのBPMプラットフォーム、ECMプラットフォーム、ERPシステムなどの基幹業務アプリケーション、チャットボットなどのSoE（システム・オブ・エンゲージメント）など、さまざまなプロセス自動化環境とシームレスな連携を図ることができます。

あらゆる自動化ワークフローと連携

RPA | BPM | 基幹業務アプリケーション | SoE（システム・オブ・エンゲージメント）
モバイル | Eメール | ECM

スキルモニタリング スキルパフォーマンスを明確に把握

ビジネスアナリストや管理者は、Vantageスキルのパフォーマンスや精度を明確に把握することができます。包括的なモニタリング機能や分析ダッシュボードを活用することで、ストレート・スルー・プロセッシングの割合、スキルパフォーマンス、改善に要する時間、マニュアルレビューキューの状態、オペレーターの作業量、サブクリプションの状態などを表示することができます。それによりユーザーは、各スキルをさらにドリルダウンし、データ抽出品質やトランザクション速度などを分析することができます。

主な機能



AIフル活用

ABBYY Vantageは、機械学習とAIに基づいて、継続的に学習と改善を行いながら、ドキュメントをインテリジェントに識別し、そこから正確にインサイトを抽出することができます。



迅速な導入とビジネスにおける成果

Vantageは、テンプレートに依存せずに、ビジョン（認識）と機械学習技術を活用して、学習と改善を続けながら、非構造化コンテンツを構造化された情報に変えていきます。



デジタルトランスフォーメーションの加速

ABBYY Vantageは、強力でありながらシンプルに使えるコグニティブスキルプラットフォームで、迅速にビジネス価値をもたらします。事前学習済みのスキルを多数利用できるため、組織は短期間でさまざまなビジネス分野に自動化の取り組みを拡大することができます。



顧客体験（カスタマーエクスペリエンス）の改善

ターンアラウンドタイムやプロセスレイテンシーを短縮し、ヒューマンエラーを減らすということは、顧客への迅速かつ正確な対応が可能になるということであり、顧客体験の向上にもつながります。これまでと同等あるいはそれ以下のリソースで、より多くのお客様にサービスを提供することができるようになります。



効率性の向上、コストの削減

クラス最高のOCRと機械学習機能を、継続的な学習・改善と組み合わせることで、ストレート・スルー・プロセッシング率の高い、卓越した精度のドキュメント処理を実現します。これにより、人が関与する必要性が減り、貴重な人的リソースを他のことに確保できるようになります。



シチズンデベロッパー向けのデザイン

Vantageは、シンプルなスキルデザイン・エクスペリエンスを採用し、さらにデジタルアシスタントがユーザーを誘導してくれるため、コーディング経験のないビジネスユーザーでも難なく操作することができます。

あらゆるインフラストラクチャ、あらゆるニーズに対応するデプロイメントモデル

ABBYY Vantageは、Webベースのクラウドネイティブプラットフォームで、Kubernetesによってオーケストレーションされたコンテナベースのインフラストラクチャを備えています。このプラットフォームは、ABBYY Cloudの他、お客様のプライベートクラウド・インフラストラクチャ内でのオンプレミス・デプロイメントにもご利用いただけます。

ABBYY Cloud

追加のITコストをかけることなく、高い柔軟性・可用性・パフォーマンスを実現します。

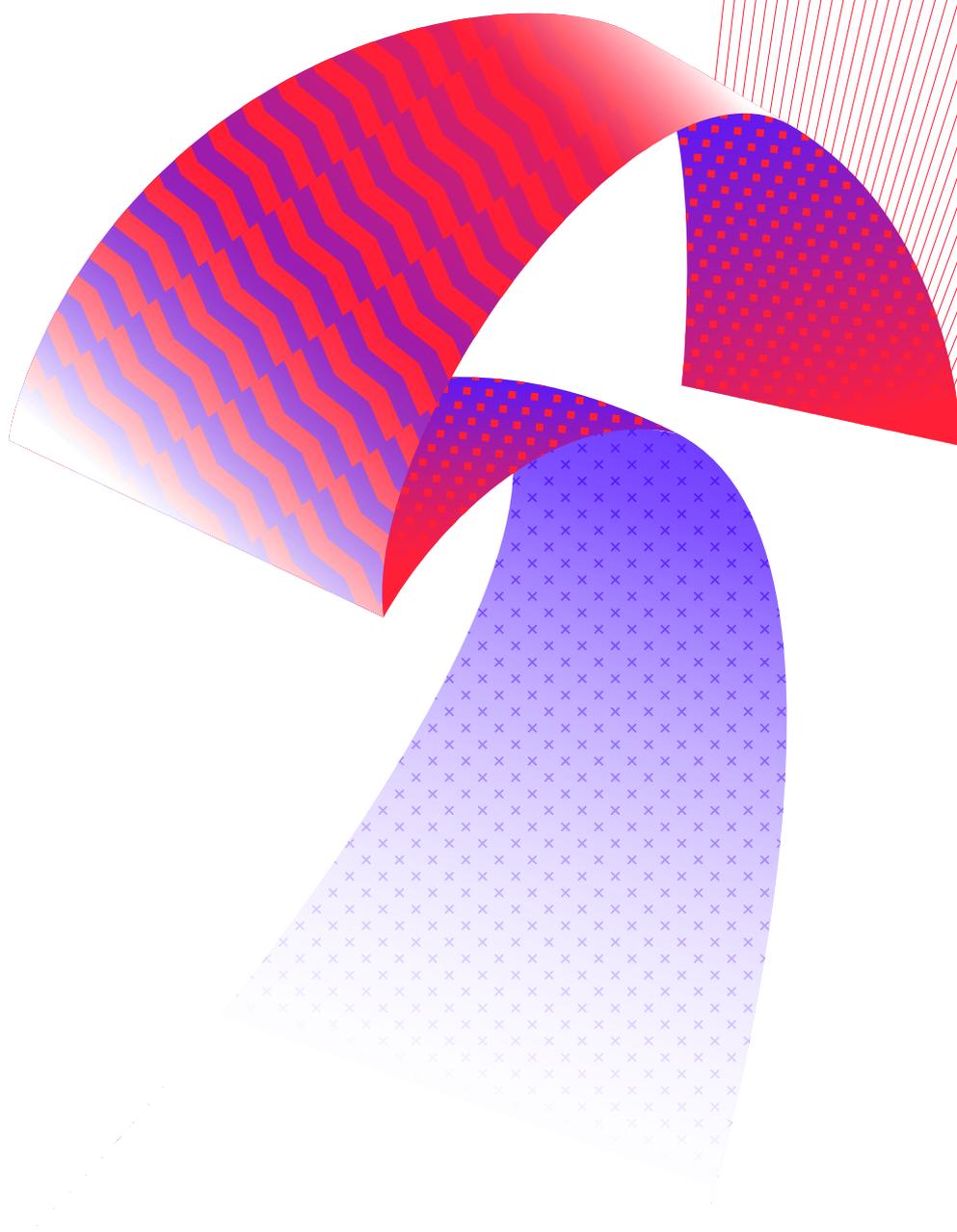
オンプレミス

企業環境内でローカル・デプロイメントを完全に制御・管理します。

ABBYY – The Digital Intelligence Company

コンテンツとプロセスの理解をいずれも実現できるデジタルインテリジェンスがあれば、ビジネスプロセスとそれを支えるドキュメントやその他のデータを360°完全に把握することが可能になります。このインサイトがあれば、問題点、ボトルネック、コスト要因を特定し、組織の自動化に最も効果的なルートを見つけ出すことができます。

企業は、ABBYYのデジタルインテリジェンスを用いることで、自社のデジタルトランスフォーメーションを加速させ、RPA、BPM、ERP、ECM、EHRといったインテリジェント・オートメーション・プラットフォームの機能を補うことができます。



ABBYY

ABBYY Vantageの詳細については、www.abbyy.com/ja/vantageをご覧ください。
ABBYYの世界各地の連絡先一覧：www.abbyy.com/ja/contacts
© 2020 ABBYY, ABBYY Vantage © 2020 ABBYY Development Inc.
ABBYY, Vantage, ABBYY Vantageは、アメリカ合衆国やその他の国に拠点を置く
ABBYY Software Ltd.の登録商標または商標です。パート# 12757

abbyy.com